



予告

平成26年4月26日
布田小学校体育館



AEDを使って模範演技をする講師

救急救命実践講習会 受講者多数のうちに終了

昨年（平成25年）11月17日に調布市こころの健康支援センター（布田5丁目）において布田小地区ハッピータウン協議会主催の救急救命実践講習会が実施された。

命を助ける技術を習得することで、地域の安心安全をより高めようという主旨のもと、午後1時から午後4時までの3時間、27名の受講者の全員がAEDの使い方をはじめ患者への声のかけ方などの実践訓練を受けた。

講師は原島調布消防署長はじめ同署消防士3名、東京防災救急協会2名、東京消防庁災害時支援ボランティア2の総勢8名で、実際の緊張感たっぷりの模範演技に受講者はさらにテンションを高めて本番さながらの訓練に臨んでいた。

同原島署長は「受講人数もちょうど良く、会場も動きやすいスペースで大変中味の濃い訓練ができた。これをきっかけに救命技能を維持向上させる努力をしてほしい」と述べていた。

また、主催者の山本事務局長は、実際に路上での救命処置の経験があり、「今回は3時間の普通救命講習だったが、今後も繰り返し継続して開催して、この上の上級コースへの受講者もこの地域から増やしていきたい。」と抱負を語っていた。

なお、当会では今後、地域内のAEDの存在場所などを記した防災ハザードマップを作成し、いざという際の備えとしていく予定。【関連記事2面】

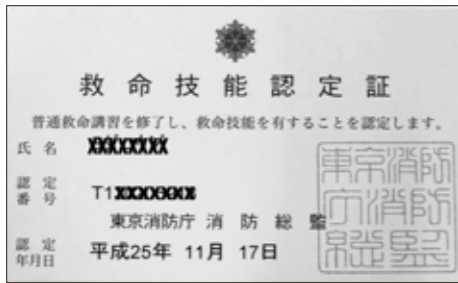
調布市防災教育の日 避難所訓練の開催

今回で3回目を迎える調布市防災教育の日、今年も当地区協が布田小学校を全面的に協力を行う。布田小の井口校長は、「昨年の反省をふまえた内容で現在検討中だが、全職



写真は昨年H25の防災教育の日（布田小学校）

受講者には後日全員に認定証が郵送で送られた



布田小地区ハッピータウン協議会

地域安全確保のための 改善要望書を調布提出



提出内容を調布市に説明する地区協代表者（向う側4名）

当地区協は、昨年（平成25年）11月20日に地域改善要望書を調布市に提出した。これは過去3回にわたる街あるきの結果をまとめ、まちの安全確保の視点から早急に改善してもらいたい危険箇所を要望書にしたもの。当日は、林市議会議長も出席し、市の関係各所へ内容の説明を行った。

【関連記事3面】

基礎基本方程式

この第4号の記事にもありますが、先日地域改善要望書を調布市に提出してきました。

この要望書は、過去3回当地区協で地域内の街あるきを行い、過大な要求要望ではない範囲で地域の安全確保の視点から内容をまとめたものです。

住民市民が協力しながら時間をかけ共有した身近な課題を、今度は調布市行政側が改善実現に向かって努力し、また同時に市民の代表者の市議がその間をコーディネートし、仕事としての実現に向け奔走しそのプレッシャーを高める。私はこのような民主主義社会システムの基礎基本方程式をしばらく忘れていたような気がしました。最近の市民社会全般の進化と成熟の中で市民力が高まり、直接的な自治活動が世の主流を占めていたような気がします。また行政側も協働の名のもと、市民側への負担を余儀なく当てにしている感も少なからずあったのではないのでしょうか。

それぞれの立場で役割があり、三者のお互いが信頼し合って一つの目標に向かって役割を全うする。というこの基礎基本方程式こそこれから広く浸透していくべき手法の一つだと、この地域改善要望書を通じて改めて感じたところです。みなさんの愛するこの地域への願いや希望が大人と子供たち全員に未来への光となるよう、本年も引き続き当地区協へのご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会
会長 依田耕児

まちづくりハッピーウォーク第3回街あるき実施



布田6丁目の狐塚古墳前にて

今回も布田小PTA校外部からの2名（斎藤順子さん、小川万有子さん）も含め全12名の参加で行われた。

当日はちやうど梅雨明けの快晴猛暑の天候で、約2時間余りの当初のコースを急ぎよ半分短縮することにした。

郷土博物館に集合した街あるき隊は、当地区協の運営委員でもある高野千尋館長の説明を受けた後、同博物館を出発し桜堤通りから布田小、羽毛下通り、郷土博物館別館、布田6丁目の狐塚古墳までのコース中における危険箇所や要望事項などを歩きながら注意深く観察、指摘しあった。

はじめて参加した布田小PTA会長の雪本修一さんは「身近な場所を視点を変えて歩くのも有意義だった。児童の登下校の安全をより一層高く確保するために今後も参加していきたい。」と感想を述べていた。

同地区協では過去2回の街あるきの結果をふまえて、地域改



設立総会を終えたすぎもり地区協議会の皆さん

すぎもり地区協議会 設立総会開催される

善要望書として調布市に提出を予定しており、今後の当協会の活動の柱としていきたいとしている。

(2014)

- | | | |
|----|--|--|
| 1月 | 白山宮神社初詣（1日 布田南部自治会）
和風・正月飾り 布田小体育館（健全育成） | 消防団出初式見学（多摩川自治会）
もちつき（桜丘睦会） |
| 2月 | 白山宮神社節分祭（3日 布田南部自治会）
四地区対抗耐寒マラソン（健全育成） | 杉森小地区協議会設立総会（22日） |
| 3月 | まちづくりハッピーウォーク（1日 ハッピータウン）
布田小卒業式（25日） | 六地区親睦ソフトボール大会（健全育成）
スキー教室（28-30日 健全育成） |
| 4月 | 布田小入学式（7日）
防災教育の日布田小避難所訓練（26日）
定例総会（多摩川自治会、布田西部自治会、桜丘睦会） | 多摩川クリーン作戦（各自治会） |
| 5月 | ハッピータウン総会（28日）
布田小運動会（24日） | さくら広場プランター花植え替え（多摩川自治会）
火の見やぐら下花植え（春）（布田南部自治会）
日本赤十字募金（各自治会） |
| 6月 | | |

その他記載希望の予定行事などがあればいつでもお知らせください！

関口謙二さん逝去



昨年の8月13日、当地区協の現副会長関口謙二さんが急性心不全のため逝去されました（享年63歳）。生前、多摩川自治会副会長、健全育成推進布田地区委員会会長など多くを歴任され、地域に多大な貢献をされてきました。ここに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

はっぴーなきずな

ハッピーうさ子 キャラクター紹介



布田小学校で飼っているうさぎにもハッピー隊の一員になってもらってます！このマーク見かけたら気軽に声をかけてね！

なまえ：ハッピーうさ子
生年月日：2011年7月7日
家：布田小

大阪から布田に来てはや8年になりました。布田小PTA会長ということでもこの地区の多きあ地の方々との交流をさせていただいています。また、この地区協を通じて地域について多くを知ることが出来るいい機会になりました。地区協の活動を通じあらためて布田小は様々なボランティアをはじめとした地域の方に見守られていることを知り、皆様には大変感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。（雪本修一）

今年度、運営委員をさせていただきます岩佐です。三人の子供たちが布田小学校に在学中、学校・PTAだけでなく、たくさんの方々が子供たちを支えてくださる事を感じていますが、少しでも地域の方のお役に立てたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。（岩佐佳佳）

子供二人が地域の方々に見守られながら成長しました。この度運営委員を務めさせていただきます。地域の繋がりが希薄になったと言われる昨今ですが、布田小では登下校時刻に合わせてボランティアの方々が子供たちを見守っていますので、微力ではありますが周りの人に支えられながら皆様のお役に立てたいと思っております。（梅原厚子）

あんしんあんぜん救急救命実践講習会

参加した皆さんの声
こころの健康支援センター
平成25年11月17日開催・晴れ

松井利夫さん(染地1丁目)
今まで見るだけの機会があったが、今日は自分から体験したので、すごく勉強になった。特に講師の方と1対1で説明を受けたことが、個別で救命体験ができたことで理解が進んだ。こうした機会はない方がいいが、地域で役立てられるようにと思った。このような体験がこまめに開催され、地域のたくさんの方が参加できればと思った。消防隊員の方やボランティアの方の指導がわかりやすかった。



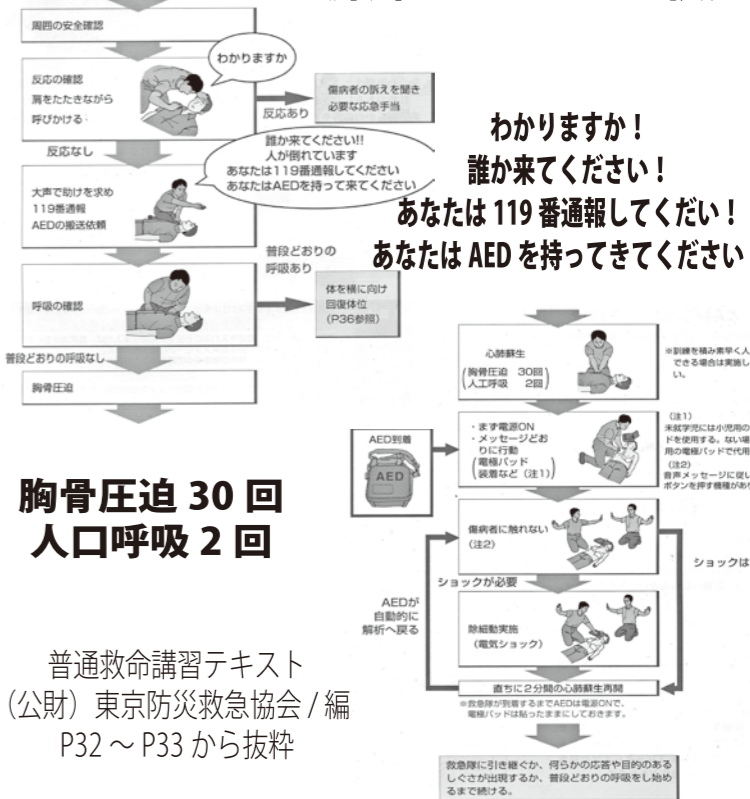
胸骨圧迫の訓練中の受講者



当日の消防署おおび講習スタッフの皆さん

けたり、月に3回〜4回要請を受けてボランティアとして参加されているそうです。

心肺蘇生とAEDの使用



胸骨圧迫 30回 人工呼吸 2回

普通救命講習テキスト
(公財) 東京防災救急協会 / 編
P32 ~ P33 から抜粋

高橋晴美さん(多摩川6丁目)
学校から子どもがチャリンをもらってきたことがきっかけで参加しました。講習を終えて、頭では分かっているけれども実践の場で行うことは難しいと思っていたので、こうした実践に近い体験ができてよかったです。特に胸



真剣に心肺蘇生訓練中の受講者

東京消防庁災害時支援ボランティアとは?

上級救命救急(一日全日講習)の受講の後に3日間の応急手当普及員認定証を取得した人が消防庁の要請により救命救急の講習や防災訓練のサポートを行っています。普及員においてはリーダー・コーディネーターなどの役割もあるそうです。調布市内ではこうした地域での防災行事への参加や小・中・高の救命救急にも応援にかけて

地域改善要望の指摘箇所マップ



<http://happy-usako.jp>

今回当地区協で指摘した場所は地域内の8地点の合計23箇所。布田小学校正門前の通りの危険な場所、視界の悪くなる草木の伐採、路面の道路標識の再塗装依頼、カーブミラーの設置など比較的身近で簡単な要望をとりまとめた。

これをうけて調布市側は、実現の可否を迅速に回答書で返答し、今後の両者の課題を確認した。

当地区協側としては、これらの要望箇所を含めて今後なるべく地域の総意をまとめる形式をとりながら、昨年までの地区協地域カルテに替わる本来の市民のこの提案方法を重視して新たな要望を追加していく予定。なお、提出した要望書および回答書はすべて当地区協ホームページに掲載済みなので、詳細はそちらをご参照ください。



自治会の新会長さんはこちらで〜す!

布田西部自治会



①山口祐二(やまぐちゆうじ) ②389世帯 ③年間38回以上の防犯パトロールの実施や秋には旧下布田町6自治会合同による布多天神社の例大祭に参加し、近隣の地区の方々と幅広く交流しています。また、本地区が中心となって結成された団体

「西友会」は歳末警戒時6日間にわたる活動などを行っています。④本地区布田六丁目においては、自治会会員の増加が著しく布田小の学区域となっていることから、防災関係等諸活動の一層の充実をお願いいたします。⑤リュックを背負っての離島の島めぐりが大好きです(特に瀬戸内海)。

布田南部自治会



①山本光則(やまもとみつり) ②672世帯 ③毎月の役員会、月2回の夜間パトロール、年末特別警戒などの年間活動のほか、白山宮神社の各種祭礼行事を通じ自治会会員の交流は活発です。現在は防災体制の充実に力点を注いでいます。④平成

24年から自治会長と布田小地区ハッピータウン協議会副会長を兼任しています。さまざまな地域活動の連携によって地域の安心安全はさらに強固になるでしょう!地域で頑張っている皆さんとの交流を大切にしています。⑤地図(特に古地図)に関する諸々のことに興味を持っています。

質問事項①会長氏名②自治会世帯数③自治会自慢④地区協に期待すること⑤好きな事など

布田小地区ハッピータウン協議会 役員・運営委員

《役員》平成25年度

- 会長 依田 耕児 (地区ボランティア有志)
副会長 山本 光則 (布田南部自治会)
中谷 俊一 (地区ボランティア有志)
林田 紀子 (地区ボランティア有志)
金山 耕治 (染地かもめ会)
総務 河内 信郷 (地区ボランティア有志)
矢幡 秀治 (布田小地区学校開放運営委員会)
関口 謙二 (多摩川自治会)
斉藤 修太郎 (健全育成推進布田地区委員会)
雪本 修一 (布田小PTA)
会計 斉藤 厚子 (地区ボランティア有志)
野口 潤 (地区ボランティア有志)

《運営委員》

- 小久保 弘 (桜丘睦会)
澤口 孝行 (桜丘睦会)
山口 祐二 (布田西部自治会)
新田 重彦 (布田西部自治会)
岡宗 秀一 (布田西部自治会)
小泉 伸子 (布田南部自治会)
杉山 幸昌 (布田南部自治会)
久場 兼三 (染地一丁目自治会)
松井 利夫 (染友自治会、民生児童委員)
石塚 絹代 (民生児童委員)
梅原 厚子 (民生児童委員)
鈴木 啓子 (健全育成推進布田地区委員会)
岩佐 理佳 (健全育成推進布田地区委員会)
柴垣 涼子 (健全育成推進布田地区委員会)
井口 中 (布田小学校)
山口 節子 (染地児童館)
高野 千尋 (郷土博物館)
木内 洋 (こころの健康支援センター)
木村 仁 (地区ボランティア有志)

《監事》

- 山口 勉 (布田西部自治会)
荘司 和代 (民生児童委員)



笑顔の山田幸恵実行委員長

布田わくわくひろばまつり 大盛況 10月27日 こころの健康支援センター

去る10月27日に調布市こころの健康支援センター地域の集いが調布市社会福祉協議会主催にて同センター(布田5丁目)で開催されました。

当日は穏やかな晴天に恵まれ、折り紙、絵手紙体験、ゲームコーナー、福祉施設などのクッキー、ジェラートコーナー、南高校や布田小合唱クラブなども出演し大いに盛況の様子でした。

山田幸恵(やまだゆきえ・下石原在住)実行委員長は、「実行委員長として今年で3年目になるがそのたびに知り合う輪が広がり大変やりがいを感じる、今後も是非続けて開催していきたい。」と大忙しの中、感想を述べてくれました。